

奄美野生生物保護センター
季刊ニュースレター



奄美の風だより

通巻33号（夏号）

年に4回発行（春・夏・秋・冬）

発行・編集

奄美自然体験活動推進協議会

〒894-3104

鹿児島県大島郡大和村思勝551

奄美野生生物保護センター

TEL: 0997-55-8620 FAX: 0997-55-8621

E-mail: amami_rabbit@nifty.com

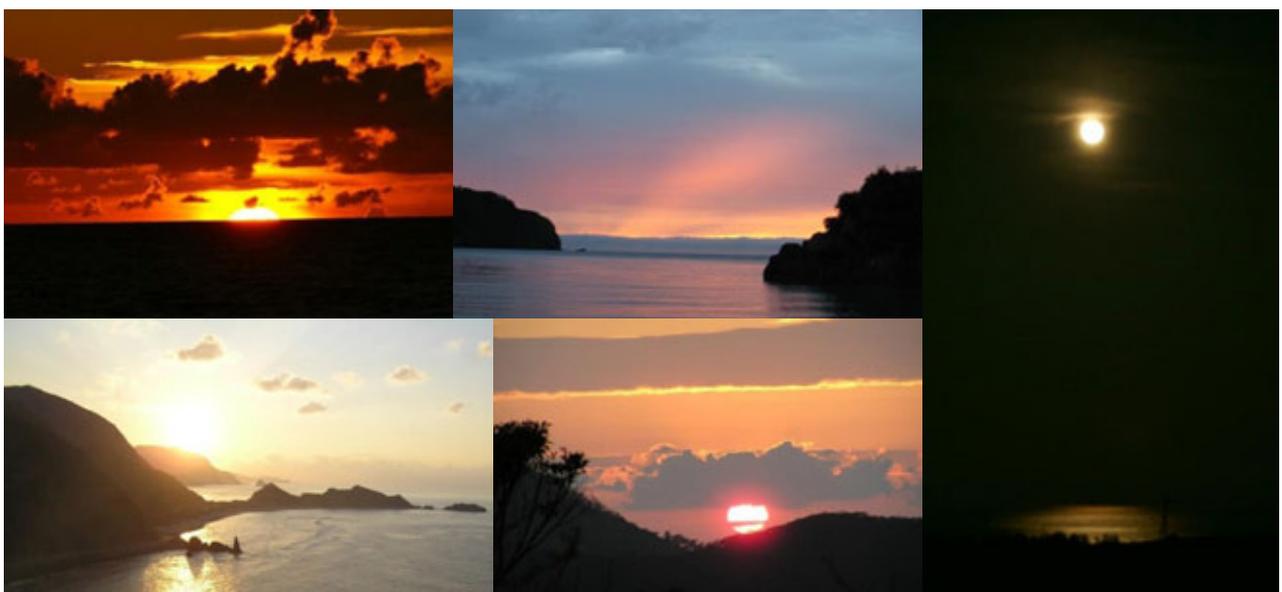
空を覆う積乱雲、肌を刺す痛い日差し、湿度が高くムワッとした空気。すっかり夏になりました。奄美に来て2度目の夏になり、去年より暑さに慣れてきたとはいえ、なかなか耐えられるものではありません。

そんな暑い日差しの中、空を長時間眺めるなんてことは出来ませんが、日が陰ってくると、眩しい日差しはなくなり、気温は下がり、ゆっくりと空を眺めることができます。

夕暮れ時のピンクや薄紫色などに色づいた雲、夕日が海に沈むときのダイナミックな風景、日によって姿かたちを変える月、天の川などなど。美しい空の変化を見ることができます。

みなさん夕涼みがてら空の観察なんていかがでしょうか。昔からの習慣にならって、浜に降りて空を眺めるのもよし、ビール片手に家の縁側や窓辺でゆっくりと空を眺めてみるのもよしです。自然の美しさを身近に感じ、また自然のすばらしさを再認識できるように思います。

（吉田）



センタースタッフによる野生の生きもの情報

アマミハナサキガエルのオタマジャクシの話

奄美の溪流には、かつて幻のオタマジャクシがいました。

褐色の体に金色の斑点をもつ美しいオタマジャクシ、アマミハナサキガエルの幼生です。

アマミハナサキガエルは奄美大島と徳之島にだけ生息する固有種です。体長は6～10センチ、奄美では3番目に大きなカエルです。

アマミハナサキガエルの存在は昔からよく知られていましたが、そのオタマジャクシは最近まで全く見つかっていませんでした。

どこでどんな暮らしをしているか分からない、幻のオタマジャクシだったので。



スマートな体型と金色の斑点が特徴

2006年、このオタマジャクシが野外で初めて見つかりました。

奄美野生生物保護センターのアクティブレンジャーの研究チームが、住用川の支流でこのオタマジャクシを発見したのです。

見つかったのは森の中を流れる溪流で、川岸が湾入して水の流れがほとんどなく、落ち葉がたくさん堆積した場所でした。

どこに住んでいるのか分からない幻のオタマジャクシ、その謎がついに明らかになったのです。



生息場所は落ち葉が堆積したよどみ

しかし、すぐに新たな疑問が浮かんできました。

住んでいる場所は分かりましたが、まだまだ分からないことがたくさんありました。

卵から孵化した後、どれくらいの期間オタマジャクシとして暮らすのか、カエルになる季節はいつか、どれくらいの大きさまで育つのか、もしかしたらオットンガエルのように1年以上オタマジャクシで成長するのか・・・などなどです。



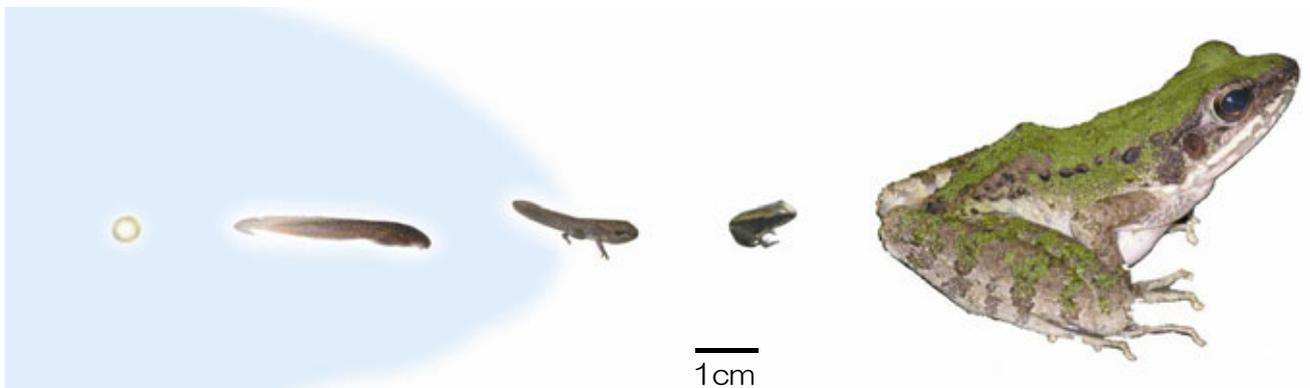
成体は緑色の斑点をもつ

幻のオタマジャクシの生態を解明したい。

そう思うようになり、月一回、同じ沢でオタマジャクシの成長具合を調べることにしました。その結果、次のようなことが分かりました。

- ◎オタマジャクシは1月から7月まで見つかる
- ◎産卵期は10月～5月で、孵化したオタマジャクシは次の夏までにカエルになる
- ◎オタマジャクシは3cmくらいまで育つ
- ◎1cmくらいのカエルになって上陸する

表 調査結果				
	卵	手足無	足	手足
1月	◎	◎		
2月	◎	◎		
3月		◎		
4月		◎	◎	
5月	◎	◎	◎	◎
6月		◎	◎	
7月		◎	◎	◎
8月				
9月				
10月	◎			
11月				
12月	◎			



卵から成体までの成長過程。立派なカエルになるまでは、とても長い道のりです。

今、子ガエルたちの上陸の季節です。

上陸したばかりの子ガエルを岸辺で見ることができます。これから森に移動して、カエルとしての生活が始まるのです。

子ガエルはどれくらいの期間で成体になるのでしょうか？成体になったとき、自分が生まれ育った川に戻ってくるのでしょうか？

まだまだ謎はいっぱいです。

謎が謎を呼び、それを少しずつ解き明かしていく、これが自然や生物と関わる一番の楽しみだと思います。



カエルとしての第一歩！

小さな体と細い手足で森へ旅立つ子ガエルたち、奄美の豊かな森に抱かれて、元気に育ててほしいと願います。

(迫田)

奄美大島生きもの情報

場所が非公開のもの



イボイモリの幼生

日時：08.06.18 16:40

状況：流れの緩やかな小川にいた。
魚のような体型でエラがあり、魚類が両生類に進化する途中のような姿だった。



ワタツミノキ

日時：08.5.29 14:00

場所：大和村

状況：花は1cmくらい。森の中でひっそりと咲いていた。



クシヒゲボタルの幼虫

日時：08.6.11 14:56

場所：奄美市知名瀬

状況：落ち葉の間を歩いていた。地表に隙間を見つけると頭を差し込んでいた。



ハマボス

日時：08.5.6 15:30

場所：笠利崎

状況：海岸の岩場のすきまからたくましく生えていた。



ルリカケスのヒナ

日時：08.5.15 23:10

場所：奄美市住用町

状況：道路の上にヒナが4羽いた。



アマミヤマシギのヒナ

日時：08.5.16 13:30

場所：奄美市住用町

状況：親鳥が翼を引きづりながらケガをしたふりをして、ヒナから人を遠ざけようとしていた。



タシロヤモリ

日時：08.5.3 18:00

場所：瀬戸内町於育

状況：海岸近くの民家で見つけた。
近年は奄美諸島でしか確認ができていない。

★ センター周辺の情報



ゴイサギ

日時：08.5.3 18:00

状況：池の水面上に突き出た倒木の上にあった。

0 4.5 9 18 km



夏に見られる野生の動植物

リュウキュウハグロトンボ

この時期になると沢沿いで見ることができます。オスは青い金属光沢のある色をしています。一方メスはオスに比べて地味な色をしており、羽の先端に白い斑点があります。



ベニアジサシ

初夏の訪れと共に集団で渡ってくる夏鳥で、繁殖期になるとくちばしが紅色になります。普段のくちばしの色は黒。

この写真は瀬戸内町の古仁屋港で撮ったものです。休息・採餌・求愛行動が見られました。



くちばしが紅く →
なりかけている

夏になると現れ、私たちの睡眠を妨害する不快昆虫「蚊」。人間だけではなく、野生動物たちも蚊の獲物になっているようです。野生生物が蚊に血を吸われている驚きの瞬間をセンタースタッフがおさめましたのでご紹介します！

オットンガエル



ヒメハブ



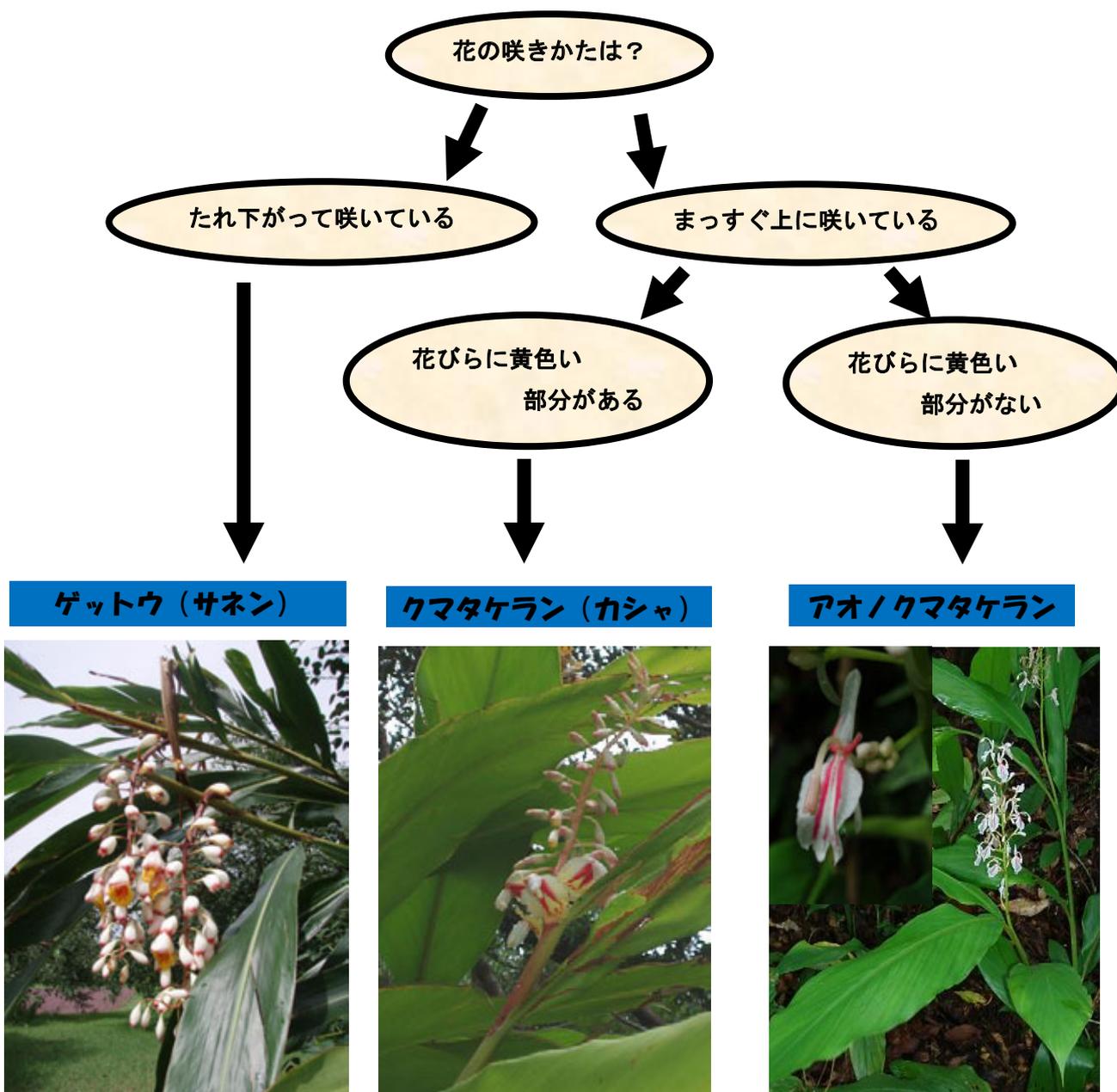
← 赤丸の場所
以外にも体中に
蚊がくっついて
います！！

見ているだけで、体中が痒くなってきます！ しかし、観察中オットンガエルとヒメハブはじっとして動かなかったそうです。痒くはないのでしょうか？

似ている花の見分け方 ～ゲットウ・クマタケラン・アオノクマタケラン～

時期が過ぎてしまいましたが、少し前までかわいい花を咲かせていたゲットウ・クマタケラン・アオノクマタケラン。

ゲットウやクマタケランは、奄美の郷土おかし、「サネンもち」や「カシャもち」を作る時にかかせない植物で、家や畑の周辺でよく見られます。アオノクマタケランは、おもに山地に咲いています。名前に「ラン」とつきますが、3種ともショウガ科の植物です。



(勝間田)

センターと協議会からの活動報告

奄美自然ふれあい行事

☆ 役勝川の生きもの観察会

趣 旨：役勝川にはどのような生きものが住んでいるのかを楽しく観察しました。

日 時：7月27日（日） 10：00～12：00

場 所：役勝川（役勝トンネル近く） 参加人数：19名



☆ みなみの海の生きものさがし

趣 旨：礁池の水たまりに取り残された生きものたちや海辺であそぶ際のいろいろな危険を楽しみながら勉強できる自然観察会を開催しました。

日 時：8月2日（土） 12：30～14：30 講師：宇都宮 英之氏

場 所：大和村戸円ヒエン浜 参加人数：10名



☆ アダン、ソテツの葉でつくってみよう！なつかしおもちゃ

趣 旨：ソテツやアダンなど奄美の身近な植物を使ってオリジナルのおもちゃを作りました。

日 時：8月4日（月） 14：00～17：00 講師：安田 謙志氏

場 所：奄美野生生物保護センター 参加人数：19名



夏の特別企画展

「アマミノクロウサギの今 ～調査と保護の現場から～」

趣旨：アマミノクロウサギの一般によく知られた特徴や生態に加え、近年わかってきた生息状況や彼らを取り巻く現状について、調査や研究結果をもとに紹介しました。

〈ワイルドライフセミナー〉 日 時：8月9日（土） 15：00～16：00

講 師：迫田 拓、永井 弓子（環境省奄美自然保護官事務所
アクティブレンジャー）

場 所：奄美博物館 3階 会議室 参加人数45名

〈企画展〉

日 時：8月10日（日）～9月14日（日）

場 所：奄美野生生物保護センター



奄美野生生物保護センターからのお知らせ

8月10日付けで自然保護官補佐（アクティブレンジャー）

が代わりました

渡邊さんより自己紹介



8月からアクティブレンジャー（自然保護官補佐）として、環境省奄美自然保護官事務所働くことになりました渡邊環樹（わたなべ たまき）です。愛知県出身で、3年前に奄美大島に来てからは、野生生物にとって大きな問題となっているマングースの防除に携わっていました。

これからは、主にアマミノクロウサギなどの希少動植物の保護や、マングースの防除に関する業務を行います。まだまだ勉強不足ですが、この素晴らしい自然のために力になれるよう、積極的に活動していきたいです。よろしくお願ひします。

編集後記

夏バテでしょうか、職員数人が少し疲れ気味です。この暑さではしょうがないですね。この暑さを乗り切るには、睡眠と食事をしっかりとり、体力をつけることが一番です。しかし、夏バテで食欲が落ちたと聞くと私には少し羨ましいです。冬太りとはよく聞きますが夏太りというものはあるのでしょうか？